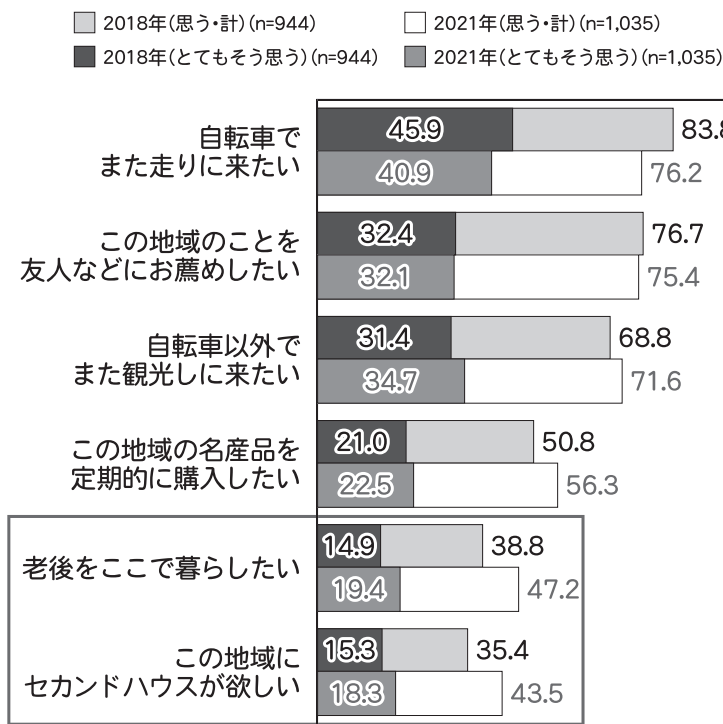


サイクル ツーリズム

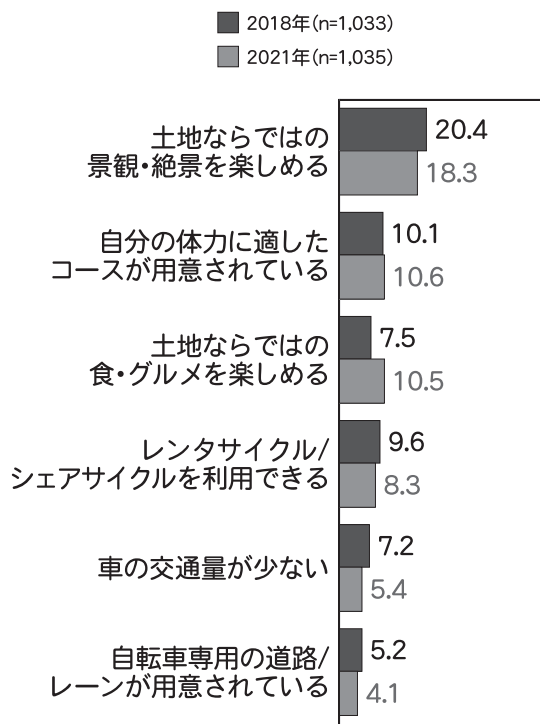
走行地域への移住意向上昇

(一社) ルーツ・スポーツ・ジャパン「サイクリスト国勢調査2021」

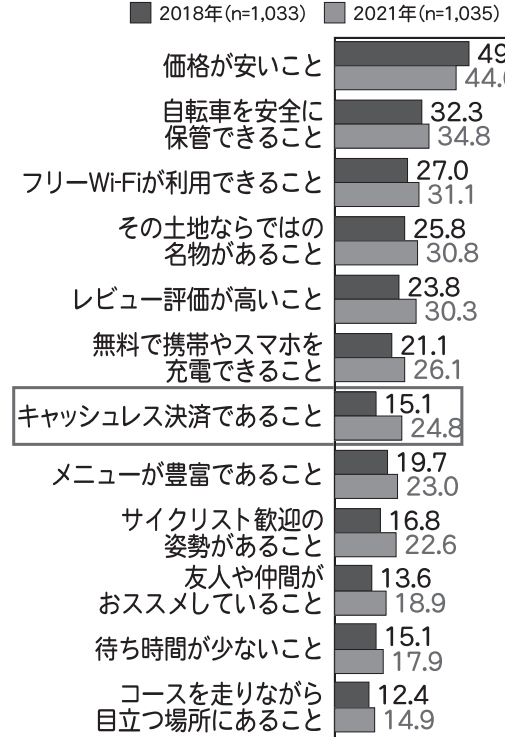
走った地域に対する評価



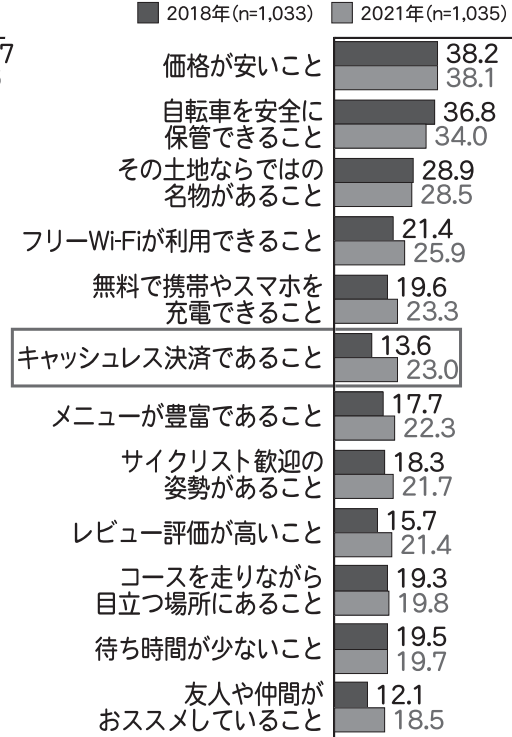
地域選びの重視点(SA)



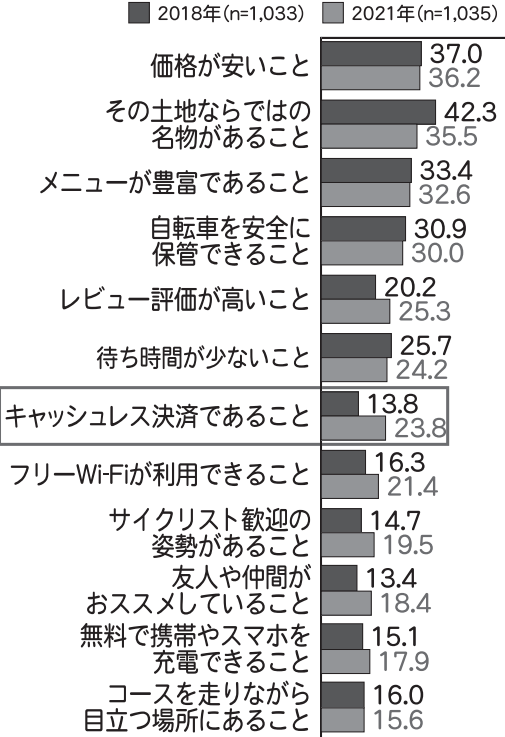
宿泊施設利用の重視点



休憩施設利用の重視点



飲食店利用の重視点



キャッシュレス決済重視傾向も

日本各地の魅力を味わえるサイクリングコンプレックス「ド・ニッポン」を運営する「一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン」は、全国の15~74歳1万人を対象に実施した「サイクリスト国勢調査2021」の調査結果を発表した。これによると、直近1年間に生活圏以外の地域を訪れて自転車で行く「サイクリスト」が増え、その中でも「お土産」「飲料」も10%近く増加した。国内でサイクリングを楽しむサイクリストは、前年より2.4%増の18万3,900人となった。このうち、サイクリングの目的は「健康増進」が最も多く、2021年は15.7%となった。また、「旅行・レジャー」も18.9%と増加している。サイクリングの頻度は「月に1回以上」が最も多く、2021年は41.1%となった。また、「旅行・レジャー」も18.9%と増加している。サイクリングの頻度は「月に1回以上」が最も多く、2021年は41.1%となった。また、「旅行・レジャー」も18.9%と増加している。

ては31.5%増で第4位

「旅行・レジャー」も18.9%と増加している。サイクリングの頻度は「月に1回以上」が最も多く、2021年は41.1%となった。また、「旅行・レジャー」も18.9%と増加している。サイクリングの頻度は「月に1回以上」が最も多く、2021年は41.1%となった。また、「旅行・レジャー」も18.9%と増加している。

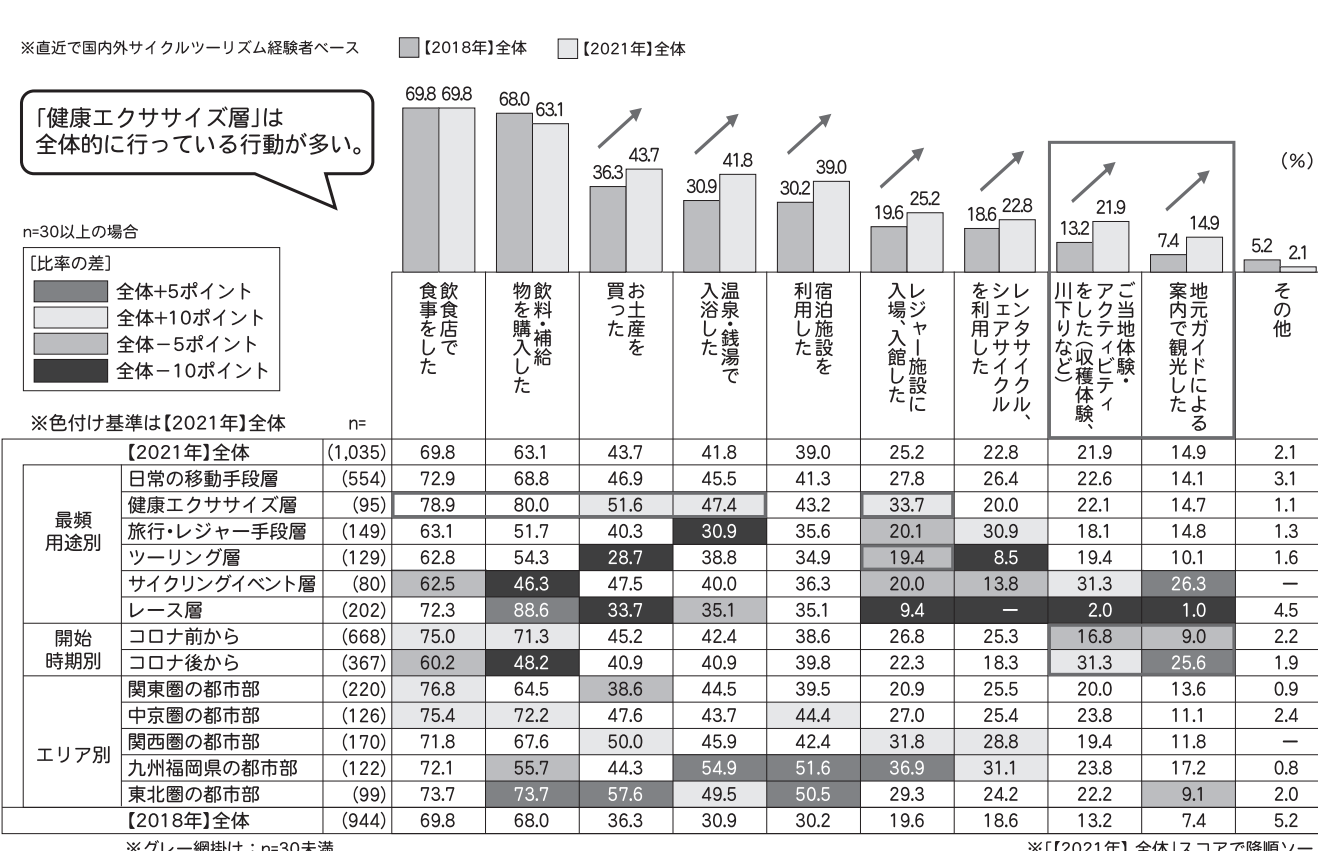
調査データ

セグメント	条件
日常の移動手段層	自転車に乗る主な用途が、「通勤・通学」「仕事時の移動手段」「日常の移動手段」「災害時」のうちいずれか
健康エクササイズ層	自転車に乗る主な用途が、「健康増進/運動不足解消のため」
旅行・レジャー手段層	自転車に乗る主な用途が、「旅行・レジャー・行楽時での移動手段」
ツーリング層	自転車に乗る主な用途が、「自分や仲間が計画したサイクリング・ツーリング」
サイクリングイベント層	自転車に乗る主な用途が、「サイクリングイベント参加」※「スタンプラリーなどの期間型イベントも含む」とした
レース層	自転車に乗る主な用途が、「レースイベント参加・トレーニング」

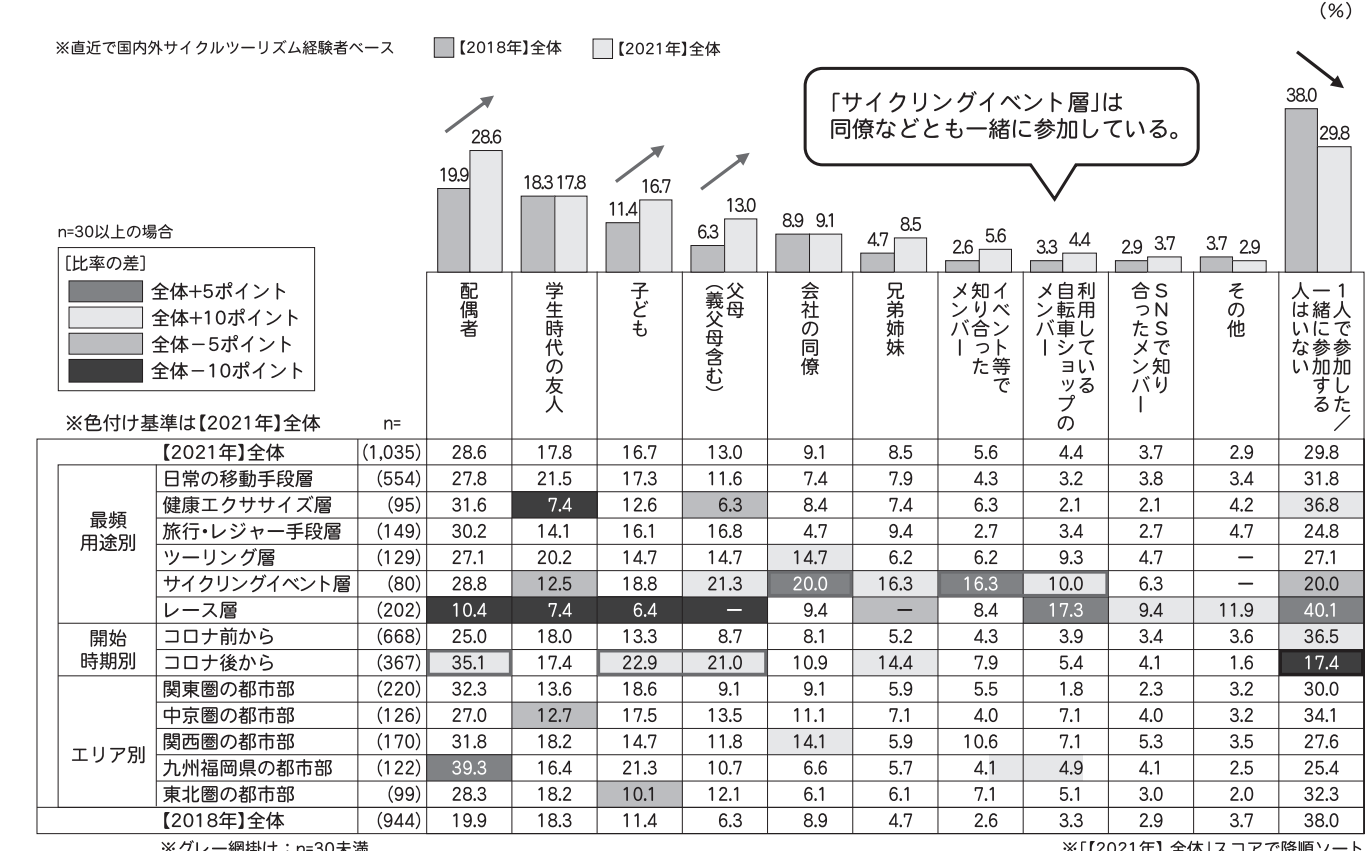
コロナ前開始/コロナ後開始のサイクリストの比較

	コロナ前開始	コロナ後開始
ボリューム	✓サイクリストの65%はコロナ前から。✓移動手段、健康、レース目的の場合はコロナ前から開始していた人が多い。	✓旅行・レジャー、ツーリング目的ではコロナ後からの開始が4割を超えており、またサイクリングイベント目的ではコロナ後からの開始が59%と高い。
サイクリング時行動	✓飲食店やレンタサイクルを利用している割合が高い。	✓「地元ガイドによる案内での観光」「ご当地体験・アクティビティ」を行っている割合が高い。
サイクリング時に使った金額	✓「宿泊施設の利用」と「地元ガイドによる案内での観光」は、コロナ後開始より使った金額が多い。	✓レジャー施設、温泉の利用 飲料・補給物の購入が特にコロナ前開始より高い。
地域選びの重視点	✓「土地ならではのグルメ、景観・絶景」を「お金をかけずに」「自宅の近くで」楽しめることを重視している。	✓「リタイア回収、救護サービス」「サイクリングガイド」「自転車の配送・受け取り」といった、安心して走れる要素を重視している。
モチベーション	✓「爽快な気分で」「自由気ままに」走りたいといったモチベーションが高い。	✓「カスタマイズ」「あの人に勝ちたい」「協力しあって目標達成したい」「タイムでゴールしたい」といった、競技よりのモチベーションが高い。

サイクルツーリズムで訪れた地域で行った行動



サイクルツーリズム時に一緒に参加した人



※グレー網掛けは【2021年】全体 ※【2021年】全体「スコアで降順ソート」 ※【2021年】全体「スコアで降順ソート」